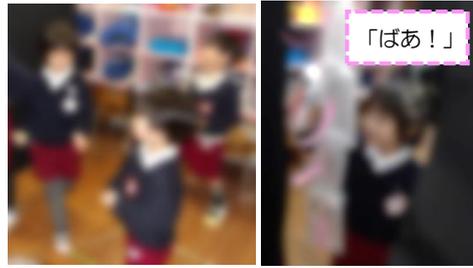
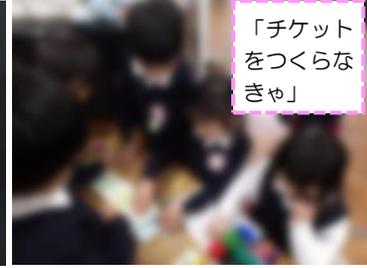


おばけやしきごっこ

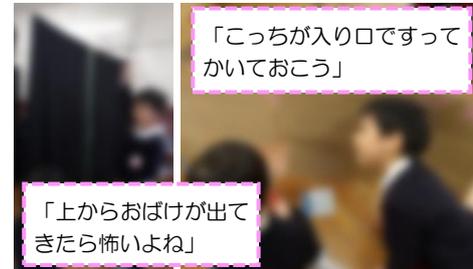
お別れ遠足を変更して行った保育参観の日にもご覧になっていただいたおばけやしきごっこ。あの後も、いろいろな絵本からおばけのイメージを広げて、目がいっぱいのおばけや手がいっぱいのおばけをかいたりつくったりしておばけやしきをつくっています。友達とイメージを共有し、「ここは入り口にしよう。こっちは出口ね」「そのおばけ怖すぎるなあ〜！」などと、お互いの考えを認め合って遊んでいることや、「じゃあ、どうしようか」と考えて試行錯誤をしている様子も、4月の頃のもも組を思うと、とても成長したと感じます。「そら組になったら、おばけやしきのある遊園地をつくろうね〜」という話になっており、そら組でもいろいろな遊びへとつながって行ってほしいと思います。



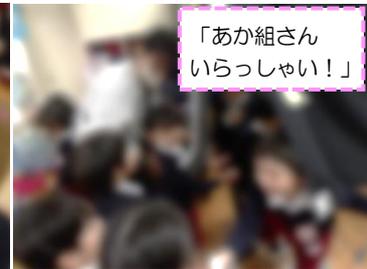
「ばあ！」



「チケットをつくらなきゃ」



「こっちが入り口ですってかいておこう」



「あか組さんいらっしやい！」



「上からおばけが出てきたら怖いよね」



「OHPで一緒に遊んだよ」

「そら組さん大好き」
 大好きなそら組とお弁当を食べたり、遊んだり、お別れ会をしたり……最後の思い出をたくさん作りました。もも組の憧れのそら組。いっぱい優しくしてくれて嬉しかったね。きっと4月からは皆が、新しいもも組とあか組に憧れられる、新しいそら組ですね！



「お弁当、一緒に食べたよ」



「そら組さんにプレゼントをもらったよ」

素敵なお兄さんお姉さんになりました

あっという間の1年間。でもとても充実した、とても成長した1年間になりました。「先生、見て見て」「先生、一緒に遊ぼう」と、先生と一緒に遊ぶことを楽しみ、もちろん、今もその姿はありつつも、友達との繋がりがより深まった1年になりました。もも組の子どもたちは、友達のことが大好きです。友達の素敵なおところを見つけて伝える力、友達が困っているときに親身になって寄り添っていく優しさ、友達と繋がって行く力、友達の存在があってこそ、成長したところがたくさんあります。友達が大好きゆえに、「なんでわかってくれないの〜!？」という気持ちの食い違いを経験していききましたね。その際は保護者の皆様にも、子どもたちの育ちゆく心についてお話させていただいたり、一緒に考えていただいたりして、温かく見守っていただき、ありがとうございました。これからどんどん成長していく中で、友達との関わりの中で、「どうしたらいいかな？」と思うことはきっとあります。そんなときに、「じゃあこうしてみようかな」「今度はこんなふうに言ってみようかな」と考えていけるように、これからも教職員皆で見守り、支え、励ましていきます。

そんな友達が大好きで、優しいもも組の子どもたちは、そら組になることをとても楽しみにしています。「新しいあか組さんに優しくしてあげる」「泣いてたら、大丈夫だよって言ってあげる」「背中をトントンしてあげる」「なんでも助けてあげる」と、新入園児に思いを馳せ、お兄さんお姉さんになった自分を思い描いています。きっとその通りになるだろうと私も嬉しく思っています。そんなふうに優しくしてあげたいという気持ちは、今までずっと年上のお兄さんお姉さんに自分たちがしてもらってきたからこそその心の育ちです。異年齢で自然に関わり合っている中で、たくさんの憧れを感じ、優しくしてもらって嬉しさを感じ、次は自分たちがそうなりたいという気持ちをもった、優しさの連鎖の中で、もも組の子どもたちがまた4月から育っていくことがとても嬉しく、とても楽しみで、頼もしいなと感じています。

保護者の皆様には、今年1年間、温かく見守り、保育を支えていただき、本当にありがとうございました。担任として至らないところも多かったと思いますが、こうしてもも組の子どもたちを任せていただけたこと、保護者の皆様とともに子どもたちの成長を見守り応援できたことをとても幸せに思っています。もも組の子どもたちと保護者の皆様が大好きです。本当にありがとうございました。